

学校教育



習志野市ご当地キャラ
「ナラシドム」

Narashino Municipal
Board of Education

だより

令和5年8月23日 発行

No. 135

発行・編集 習志野市教育委員会
☎ 047-451-1151 (代表)

習志野市ホームページ
学校教育だよりはこちら
からもご覧いただけます

平和を願って 習志野市平和市民代表団



習志野市祈念式典（8月6日）秋津公園「平和の広場」



5月30日の結団式から活動が始まり、7月には事前学習会や清掃活動に参加しました。活動を通して、平和の尊さを学び、それを伝えていきたいという思いを抱きました。

習志野市では、戦後50年目の節目（平成7年）から毎年、被爆地である「広島市」「長崎市」へ『習志野市平和市民代表団』を派遣しています。残念ながら、今年度は台風の影響で長崎市の式典に参加できませんでしたが、秋津公園での平和記念式典に参列しました。若い世代が平和の尊さを知り、次世代の平和活動へ繋げていけるよう、非戦の誓いを伝えています。

例年以上に暑い日々が続いていますが、7月8月と、中学校や高校では総合体育大会、コンクール、インターハイが行われ、各会場で熱戦・熱演が繰り広げられました。最後まで諦めずに全力を尽くす生徒の姿。一人一人の競技にかける熱い思いが感じられ、令和5年度の夏も各大会で皆の心に残る感動の名場面が生まれました。本号では、総合体育大会、コンクール、インターハイの結果等、習志野っ子の活躍を紹介致します。（文責 教育総務課 佐藤）

《第 1 3 5 号》

テーマ「習志野っ子の活躍」

《目 次》

習志野市平和市民代表団の活動	… 1
習志野っ子の活躍（習志野高校）	… 2
習志野っ子の活躍（小・中学校）	… 3
健歯児童生徒審査会・表彰式 キラットジュニア防犯隊結団式 教育委員会顕彰授賞式・表敬訪問 出張授業（秋津小）	… 4
校内研究（大久保東小・東習志野小・実花小）	… 5
わくわく学びランド・小中音楽会	… 6
特色ある教育活動紹介 ～向山小～	… 7
習高ニュース・教育長コラム	… 8

男子バレーボール部

3年連続32回目の優勝!!



千葉県代表としてふさわしい結果を残せるよう、選手一同で一戦一戦目の前の相手に集中し、日々の練習の成果を発揮できるよう日本一を目指して頑張ります。
 男子バレーボール部キャプテン 後藤 悠月さん

女子体操競技部



目指せ!!
未来の
オリンピック
選手!



8月3日から北海道で行われるインターハイに出場してきます。決勝進出を目指して頑張ります。個人での参加になりますが、チームメイトの分も全力で演技してきます。応援よろしくお祈りします。
 藤原 みあさん

ボクシング部

優勝を目指し
日々鍛錬!



学校対抗 & 個人の部



石田 歩さん 片岡 雷斗さん 福留 想大さん 野口 龍斗さん



靄岡 岳人さん 中崎 太相羅さん 佐伯 和馬さん

ボクシング部は、インターハイ団体優勝を目指して、自分たちの課題をしっかりとち、厳しい練習に励んできました。その成果を発揮し、悔いの残らない試合をしたいと思えます。応援よろしくお祈りします。
 ボクシング部キャプテン 石田 歩さん

柔道部

目標は日本一 そしてオリンピック金メダル!



初めてのインターハイですが、優勝旗を持って帰ってこられるように頑張ります。
 高橋 叶さん(左)

今回の北海道インターハイは1年生として臨むので、しっかり優勝を狙って全力で頑張ります。
 小川 皓太郎さん(右)



インターハイの結果速報につきましては、P.8の「習志野高校ニュース」にて掲載しております。

習志野っ子の活躍

この夏、習志野の児童生徒が日頃の練習の成果を存分に発揮して、大会やコンクールで大活躍しました。
(文責 指導課 野口)

市内小中学校

第77回千葉県中学校 総合体育大会

第七中学校 男子バレーボール部

準優勝



私たちは組み合わせで激戦区に入りましたが、春の県大会で負けてから、練習を積み重ねてきたことを信じて県大会に臨みました。そして準優勝という結果で、関東に行ける枠を掴み取れたことがすごく嬉しかったです。去年の先輩達のリベンジを果たせ、七中としてチームがひとつになって応援やプレーをすることができ、大会を通じてまたひとつ成長出来たと感じています。私たちの目標は関東大会ベスト8・全国大会出場です。最高の仲間とプレーできる喜びや支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、関東大会では七中旋風を巻き起こしてきます！(部長 明神良芽さん)

関東大会出場激励会

令和5年8月2日(水) 第七中学校体育館

部長が関東大会出場に向けて、意気込みを熱く語り、チームを奮い立たせました。



関東大会出場!!

(陸上)	第四中(2年)	小寺 慎之介	男子2年100m
(柔道)	第四中(2年)	小川 舞桜	女子57kg級
(水泳)	第三中(3年)	石渡 心寿	女子200m個人メドレー
			女子100m平泳ぎ
	第二中(2年)	川畑 颯翔	男子1500m自由形
	第二中(1年)	野中 祐玖	男子200m自由形
			男子400m自由形
	第五中(3年)	池田 拓真	男子200m背泳ぎ
	第五中(2年)	脇坂 悠生	男子100m自由形
(新体操)	第六中(3年)	清水 優羽	個人種目

第65回千葉県吹奏楽コンクール

東関東大会出場!!

【団体】

東習志野小学校 吹奏楽部
実花小学校 吹奏楽部
第四中学校 吹奏楽部



※関東大会の結果については次号にてお知らせいたします。

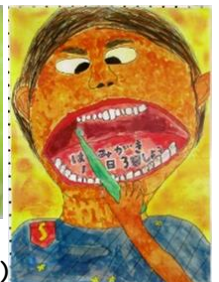
仲間と共に高め合った夏！さらなる飛躍に向けて

キラリ☆と輝く 習志野っ子の活躍



健歯児童生徒審査会・表彰式

6月22日(木)に健歯児童生徒審査会が開かれ、併せて健歯児童生徒及び「むし歯予防図画・ポスター展」入賞者、学校歯科保健優良校の表彰式が行われました。



【健歯児童生徒】

- 小学校男子 第1位 荒木雅弥さん(藤崎小)
- 小学校女子 第1位 山本香緒さん(大東小)
- 中学校男子 第1位 西彬宏さん(第三中)
- 中学校女子 第1位 上村ひなたさん(第四中)

低学年の部 金賞
北浦 向葵さん(袖東小)

中学校の部 金賞
忠地 花楓さん(第二中)

高学年の部 金賞
小池 惺南さん(屋敷小)

【学校歯科保健優良校】

袖ヶ浦東小学校 実籾小学校 第七中学校

キラット・ジュニア防犯隊「令和5年度結団式」

6月24日(土)キラット・ジュニア防犯隊「令和5年度結団式」が行われました。住みよいまちづくりへの願いを代表生徒が話しました。

私たちはひとりひとりみんな違います。お互いがお互いのことを認め合い、暴力やいじめ、差別がない社会をここにいる隊員みんなで目指していきたいと思います。
代表の言葉(第五中学校 2年 宇羅優衣さん)



市長賞 教育委員会顕彰授賞式

4月に大阪で行われた全日本ユース珠算選手権大会で、第一中学校3年の深谷柚衣さんが個人総合競技で優勝しました。6月29日(木)に市長賞、教育委員会顕彰の授賞式が行われ、その優秀な成績が讃えられました。



総合競技 優勝(全国1位)
種目別競技(みとり暗算) 第3位
第一中学校 3年 深谷柚衣さん

私は幼稚園年中の頃からそろばんを始め、今年で10年目となりました。ここまで続けられているのは、家族の協力と、そろばん教室の先生方、いつも一緒に練習してくれている仲間、応援してくれている友達のおかげだと、とても感謝しています。(第一中学校 3年 深谷柚衣さん)

表敬訪問



少年少女空手道選手権大会関東大会で習志野の子供たちが活躍しました。7月20日(木)に表敬訪問し、結果報告を行うとともに全国大会に向けて、意気込みを語りました。

全国少年少女空手道選手権大会出場

- 屋敷小学校 4年 千葉和奏さん
- 津田沼小学校 5年 中尾唯乃さん
- 谷津小学校 5年 櫻井光希さん

千葉和奏さんは
全国ベスト8に
輝きました!





現役裁判官が出前授業

—クイズ形式で裁判身近に—

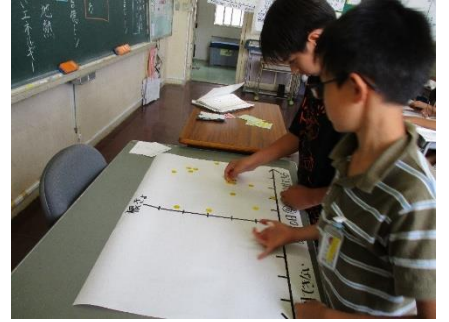
児童に裁判を身近に感じてもらう目的で、千葉地方裁判所の現役裁判官、福家康史さんが6月27日に秋津小学校6学年で裁判員制度に関する出前授業を行いました。「学生や法律に詳しくない人でも裁判員になれるか」など、クイズ形式で裁判に関する話題を紹介し、児童も楽しみながら学びました。授業を受けた児童の中からは、「法律を勉強してみたい。」「裁判員にもなってみよう。」などの声が上がっていました。



(文責 指導課 河村) 6 / 27 秋津小

授業で光る！児童の姿

校内 国語科研究 大久保東小学校



低学年：タブレット端末を活用して調べたことを発表しています 中学年：動作化することで想像力をかき立てます 高学年：思考ツールを活用して互いの思考を伝え合っています

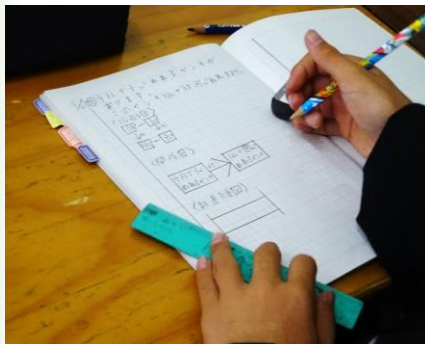
大久保東小学校では今年度から副主題を「確かな読みにつながる指導の工夫」から「自分の考えをもち、広げ深めるための指導の工夫」に変更して、3年計画で研究を進めています。3つの重点のうち、今年度は「想像豊かに読むための指導の工夫」と「互いの思考を伝え合うための指導の工夫」に力を入れています。公開研究会では、さらに主題にせまれるよう研究を進めて参ります。(研究主任 西林 圭悟)

校内 理科研究 東習志野小学校



研究主題に「生き生きと活動する子供の学びを育てる」を掲げ、生活科・理科の研究を行っています。自然事象と出会った時、「なぜ?」「もっと知りたい!」と主体的に追究していく子供の姿を目指し、今年度は対話と振り返りに重点を置いた研究に取り組んでいます。他者だけでなく自分自身、目の前の事象ともじっくりと対話させ、既習事項や生活経験を振り返らせることで、子供たちの「生き生き」した学びの実現を目指します。(研究主任 卯月さくら)

校内 算数科研究 実花小学校



「子どもが主体的に学び合う」ことを主題とし、算数が得意な児童、苦手な児童、全ての児童にとって学びのある授業を目指しています。問題と出会った時、難しくても、まずは自分で考えてみようとする姿勢を育てたいと考えています。そして、これから先の人生で出会う様々な問題を乗り越えられる大人になるために大切な「生きる力」を育む、算数科教育となるように研究を続けています。(研究主任 細木勇太郎)

令和5年度 わくわく学びランド

～総合教育センター～

習志野市総合教育センターでは、小学生・中学生を対象に、千葉工業大学や佐倉高等学校、習志野高等学校と連携した科学教室「わくわく学びランド科学教室」と、退職校長会の協力で、夏季休業中の学習支援教室「わくわく学びランド学習教室」を企画・実施しています。

アフターコロナの今年度は、昨年度20名の定員を45名に増大し実施します。既に開催済みの科学教室では、90名を超える応募がありました。参加した児童は、皆楽しく科学体験を行いました。科学教室と学習教室を年間で計10回予定しています。



「わくわく学びランド科学教室2023」

7月26日(水) 夏休み科学教室

(千葉工業大学 工藤助教授)

『タウリンの結晶を作って、

大きさ・形を見てみよう!』

「わくわく学びランド科学教室2023」

7月27日(木) 夏休み科学教室

(佐倉高等学校 石島先生)

『ダンゴムシ博士になろう!』



「わくわく学びランド科学教室2023」

8月17日(木) 夏休み科学教室

(習志野高等学校 渡邊先生)

『葉脈標本を作ろう!』

「わくわく学びランド2023」
夏休み学習教室(退職校長会の先生方)

夏休み学習教室では、児童自身が持参した課題を学習する中、わからない箇所があると退職校長会の先生方に教えてもらえます。読書感想文の書き方なども、ポイントを丁寧に指導してもらえます。8月22日、23日、24日、25日、28日の5日間実施します。

今後実施予定の学習教室

☆10月17日(火)

退職校長会による「理科教室」

☆12月26日(火)

退職校長会による「書き初め教室」

※開催1カ月前を目安に募集チラシを市内各小・中学校に配付し募集します。

令和5年度習志野市小中学校音楽会



令和5年度習志野市小中学校音楽会が、6月29日(木)、八千代市市民会館で開催されました。

市内全ての小中学校が一堂に会し、日頃の音楽の授業、部活動で学んだ合唱や合奏を披露しました。

表情豊かに感情を込めて歌い、演奏する姿は、参観した児童生徒、保護者に感動や喜びを与えました。「音楽のまち習志野」を表した素晴らしい行事となりました。

(文責 総合教育センター 稗田)

習志野市立向山小学校



児童数 311 名 学級数 14 (含自閉症・情緒障害特別支援学級 2)

教職員数 25 名 言葉の教室 2

学校教育目標 主体的に学ぶ力と豊かな心を持ち、健康でたくましい児童の育成

あしたのハーモニーが響くまちは習志野市

リレー連載

私たちのまち 習志野の学校

No. 19

《学校の沿革》

本校は、旧地名「谷津村字向山」から校名を「向山小学校」と定め、昭和 50 年(1975 年)4 月に谷津小学校から分離し開校しました。来年の令和 6 年度には創立 50 周年の歴史を刻みます。

開校当初から PTA や地域の方々が学校緑化に取り組み、四季折々の豊かな自然が感じられる教育環境となりました。シンボルツリーは「こぶし」の木で、開校時に数か所に植樹され、春先に可憐な白い花を咲かせています。このこぶしに見守られて逞しく育つ本校の児童を、「こぶしっ子」と呼ぶようになりました。

児童数は昭和 60 年に 927 名まで増加しましたが、同年に谷津南小学校が創立してからは、徐々に減少しました。しかし令和 2 年には JR 津田沼駅南側の集合住宅が本校の学区として組み入れられ、児童数は再び増加傾向となっています。

そんな本校も開校より半世紀を経ており、併設する向山幼稚園は今年度末に閉園し、(仮称)「向山こども園」へと生まれ変わります。そして小学校校舎は令和 4 年度から 7 年度末まで続く長寿命化改修工事により、より安全・快適な教育環境へと変貌を遂げています。



開校前の校舎



開校時、校庭で遊ぶ子供たち

《学校の特色》

小さな学校、大きな家族 豊かな自然の中で仲良く育つ子供たち

児童は休み時間に校庭の蝶やバッタを追いかけ、カナヘビや大グモとの遭遇に驚いています。そんな豊かな自然の残る向山小学校は、現在 14 学級、児童数 311 名の小さな学校です。

校舎裏南側の斜面は県有地で普段は人が立ち入らず、自然の木々が生い茂り、小動物や野鳥などの生き物を見ることが出来ます。「ムコポン」と名付けられた母親ダヌキは、4 匹の子ダヌキを育て、夜間には幼稚園園庭を歩き回る姿が目撃されています。

昨年度まで「小規模特認校」に指定されていたため、1 割弱の児童が学区外から通っています。今年度からは、「地域特認校」となりました。谷津小学校区全域と谷津南小学校区のうち、奏の杜地区から、向山小学校を選択する児童を迎えています。また、JR 津田沼駅付近の集合住宅も新たに学区に加えています。谷津の古い伝統と地域性も根付いており、子供らしい純朴な児童が多く、学年の枠を越えた仲の良さが特長です。

年度初めに、学年縦割りの「なかよしグループ」を結成します。「なかよし遠足」や「なかよし活動」、「鹿野山の合同宿泊」を共に経験しながら、年間を通して年齢を越えた思いやりや、責任感を育てています。



なかよし活動



1 年外国語活動

本校の研究教科は外国語です。教育課程特例校として JLT が配置され、1 年生からゲームなどを楽しみながら、学級担任と ALT、JLT の元で英語を学んでいます。ここでも大切にしていることは、コミュニケーション能力の育成です。「BEST」(Big voice/Eye contact/Smile/Try) を合言葉に、全校で外国語を始め各教科の授業法開発と指導力向上に取り組んでいます。

半世紀の伝統を大切に、新たな教育環境を整えながら、これからも全職員が一丸となり未来を担う子供たちを育成してまいります。

雑草の如く逞しく

～習志野高校ニュース～

2023ICFジュニア&U23 カヌースラローム世界選手権大会 in ポーランド出場!!

私は5月にタイで行われたアジア選手権の年代別U18で2位、U23では3位という成績を残すことができました。表彰式で日本の国旗があがった時は初めての事だったので高揚感がありました。8月ポーランドで行われる世界選手権でもU18最後の年ということもあり、表彰台を目指して頑張ります。

オリンピック強化指定選手 長洲 百香さん



世界への挑戦!!

2023 インターハイの結果速報!!

【柔道部】73kg級 優勝 高橋 叶(3年)
90kg級 1回戦 小川 皓太郎(1年)

【女子体操競技部】予選出場 藤原 みあ(3年)

【男子バレーボール部】 ベスト8

【ボクシング部】 学校対抗 第8位

ライトフライ級 準優勝 片岡 雷斗(2年)

ピン級 ベスト8 福留 想大(3年)

バンタム級 ベスト8 石田 歩(3年)

ライト級 1回戦 野口 龍斗(3年)

ライトウェルター級 2回戦 佐伯 和馬(2年)

ウェルター級 ベスト16 中崎 太相羅(2年)

ミドル級 ベスト16 轟岡 岳人(2年)

～好きですふるさと習志野～

教育長コラム



まさに暑(熱)い夏の到来です。猛暑日が過去最多となり、観測史上最も暑い夏となりました。そのような中、児童生徒にとっては、大会、コンクールの熱い季節となっています。スポーツでは、中学校の総体において、第七中男子バレーボール部が県大会で準優勝し、関東大会に駒を進めることができました。個人では柔道、陸上競技、水泳、新体操で関東大会出場を勝ち取っています。また、吹奏楽コンクールでは、東習志野小、実花小、第四中が県大会を通過し、東関東コンクールに向けて練習に取り組んでいます。そして、市内の児童生徒の憧れでもある習高では、今年も男子バレーボール部、ボクシング部が県チャンピオンとなり、それぞれのチームがインターハイでベスト8に輝きました。男子柔道の高橋叶さんの全国優勝をはじめ、女子体操、ボクシングの個人もインターハイ出場を果たし、北の大地(北海道)で大いに活躍してくれました。一方、市民期待の習高野球部は甲子園出場を目指し、4年ぶりの決勝戦で専大松戸高と対戦することとなりました。私もマリンスタジアムで応援しましたが、試合は初回から点の取り合いとなりました。7回終了時には2点差でリードし、「このままいけば甲子園…でも、ここからが勝負」といった気持ちで懸命に応援を続けました。しかし、非情にも結果は9回裏サヨナラ負け。その瞬間、体中の力が抜けていくような感覚になりました。とても残念ではありましたが、大会を通して、全力で応援をしてくれた吹奏楽部やバトン部はもちろんのこと、スタンドから応援をした野球部員や習高生の元気の良さ、声の大きさは4年前に負けておらず、学校全体の活力を感じました。習高の今後の活躍を期待するとともに、小・中学校も続いてほしいと思っています。

(教育長 小熊 隆)